

コンテナターミナルシステム

》用途

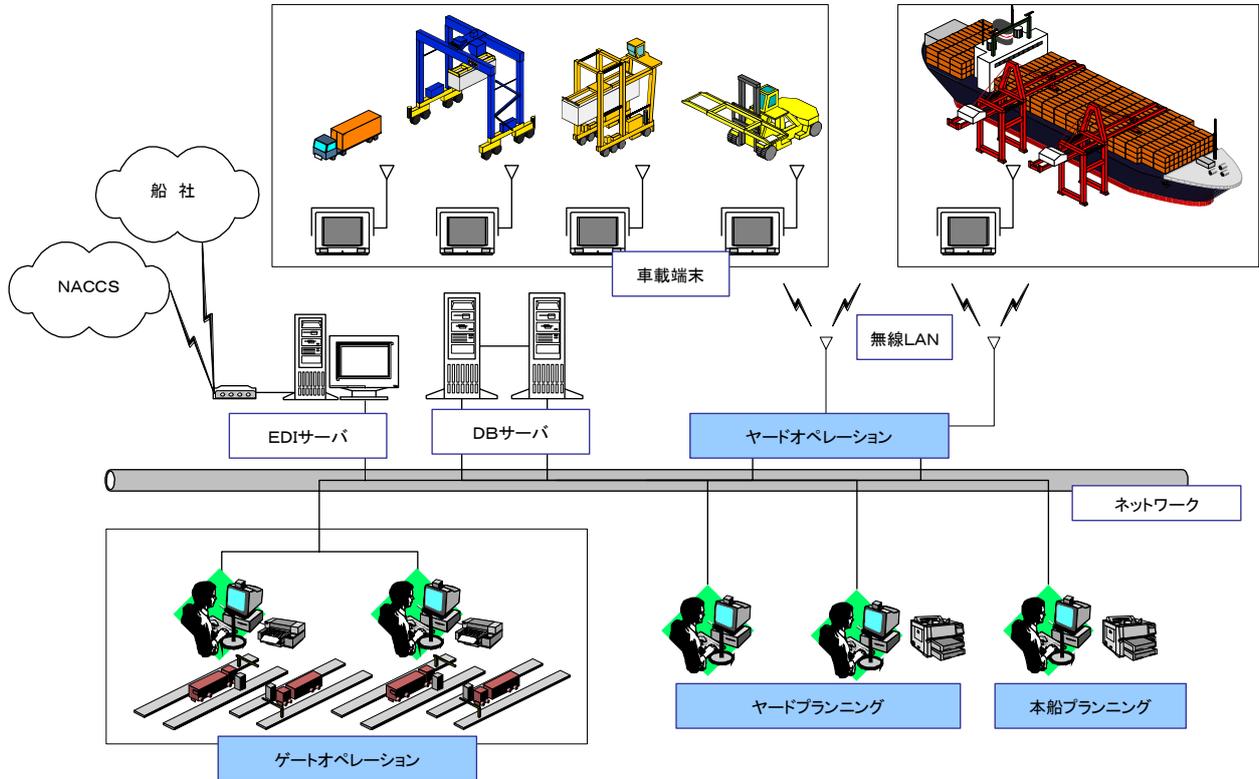
コンテナターミナル業務の効率化・信頼性向上

》特長

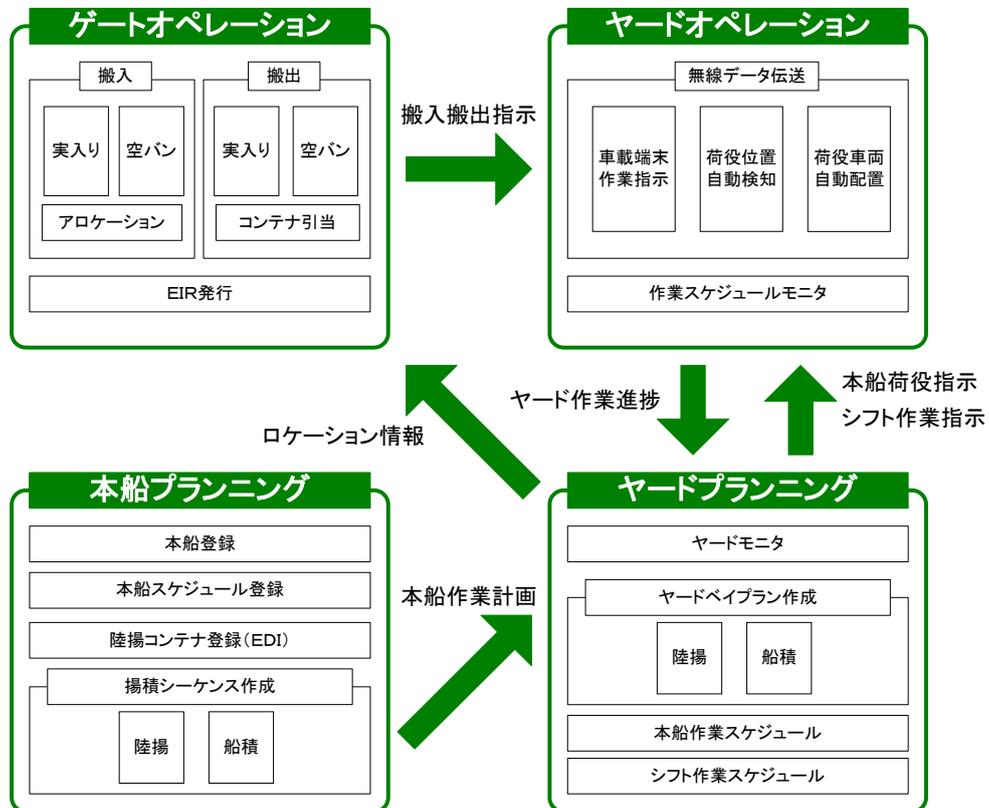
- ▶1. マルチユーザターミナルに対応
 - (1) 複数のターミナルオペレータ会社による共同運用に対応
 - (2) ターミナルオペレータ会社毎にセキュリティ機能で守秘情報を保護
- ▶2. リアルタイム情報処理でヤード管理業務の省力化を実現
 - (1) コンテナをシステムが自動的に検索
 - (2) システムが自動でコンテナ蔵置位置決定
 - (3) 往復荷役に対応
- ▶3. 車載端末・ハンディ端末による正確でスピーディなリアルタイム情報処理が可能
 - (1) センターオペレーション業務効率化→正確な作業指示
 - (2) リアルタイム在庫管理→即時在庫データ更新
- ▶4. インターネットによるコンテナ搬出許可照会に対応
 - (1) インターネットや携帯電話からコンテナの搬出許可状況を照会可能
 - (2) 搬出許可に関する問い合わせと搬出未許可車両への対応時間削減
- ▶5. 各種帳票の自動作成に対応
 - (1) 帳票作成に関する時間削減と省力化を実現
- ▶6. 外部情報とのインターフェイスに対応
 - (1) オペレータ各社上位情報システムと柔軟に接続が可能
 - (2) Sea-NACCS に対応
 - (3) 自動化トラックゲート等のシステム拡張に柔軟に対応
- ▶7. 効率的なゲートオペレーションを実現する自動化トラックゲート
 - (1) 日本初のコンテナ番号自動認識カメラシステムの採用によるゲート受付処理の効率化を実現
 - (2) 車番認識カメラシステムの採用による入場トレーラー管理の効率化を実現
 - (3) コンテナ天井損傷モニタの採用によるコンテナ損傷確認作業の省力化を実現
 - (4) タッチパネルシステムの採用によるスピーディな無人受付処理を実現
 - (5) クラークマルチアクセス方式の採用によるゲート受付業務の効率化・省力化を実現
 - (6) 上位システムと柔軟に接続が可能



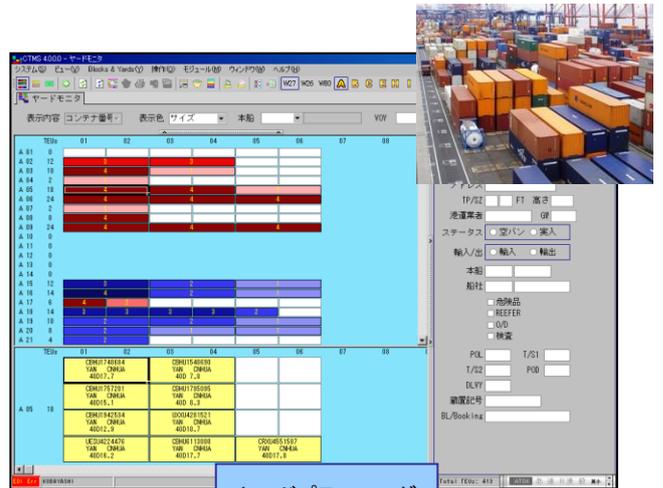
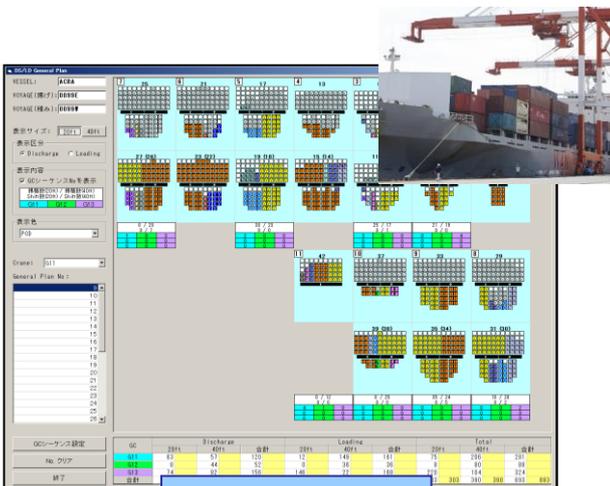
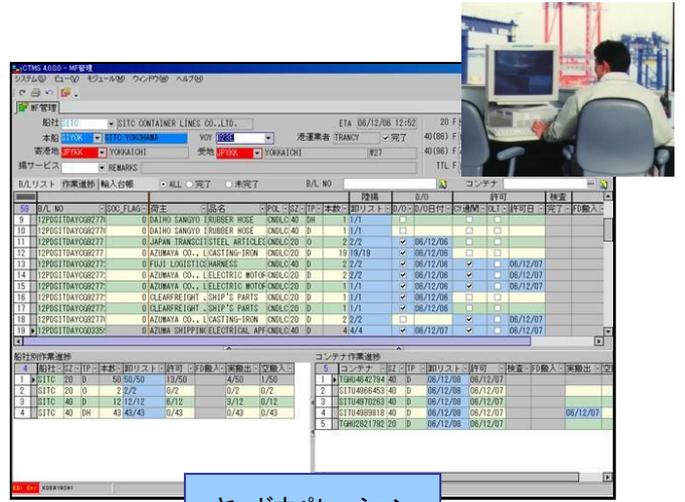
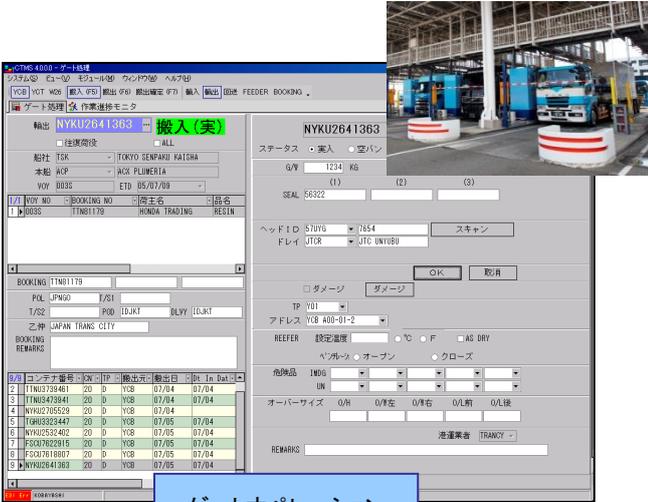
》システム構成例



》ソフトウェア構成



》システム画面例



》自動化トラックゲート

